令和３年１月 26 日

沼津市長　賴　重　秀　一　様

沼津市行政改革推進委員会
委員長　清　水　賢　嗣

第３次沼津市行政改革プランの進捗状況及び次期行政改革プランの策定等について （答申）

令和２年５月 26 日付け沼企政諮問第１号で諮問のありました第３次沼津市行政改革プランの進捗状況及び次期行政改革プランの策定等について、別紙のとおり答申します。

答　　申

諮問を受けた「第３次沼津市行政改革プランの進捗状況及び次期行政改革プランの策定等について」は、下記のとおり答申する。

記

本プランの令和元年度の進捗状況については、概ね計画通りに進捗していると評価する。取り組みの基本方針「特に重点を置いて取り組む改革」のうち、「SNS や新たなツールを活用した市政情報の効果的な発信」について、複数課による SNS 登録キャンペーン等、工夫を凝らし、市の公式 SNS アカウントの登録数増加として一定の事業成果が表れている。

一方で、事情により進捗に遅れが生じることもやむを得ない場合もあるが、「社会教育施設の抜本的な見直し」等、取組の遅れが見受けられる事業は、本プランの取組期間の終了にとらわれず、取組を継続し、目標達成に努められたい。

なお、各個別改革に対する「進捗状況に対する評価」と「進捗状況に対する意見等」を、別紙のとおりまとめたので、各改革責任部署において確認されたい。

また、今後の行政改革の方針について、従前の独立した行政改革プランの策定に代わり、総合計画と統合することは、推進計画と一体的な管理・運営を図ることができ、結果として進捗管理を簡素化することができる点、また市民にとってもわかりやすくなる点で、望ましい。一方で、基本計画の行政改革の該当部分については、推進計画上で、目標である利便性、効率性の向上等の達成状況が可視化されるようご留意いただきたい。

さらに、市民の利便性向上も行政改革の重要な一側面であり、AI や ICT を、業務効率化だけではなく市民の利便性向上にもつながるように活用してほしい。

以上の意見について、十分に配慮いただきたい。

第３次沼津市行政改革プラン　個別改革に対する評価（令和元年度実績）

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-１	公共施設マネジメント計画の策定及び推進	資産活用課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・個別施設計画採択のための庁内向けガイドラインを作成し、それを元に個別施設管理シートの作成に着手し、具体的に削減に向けて動き出している点は非常に評価できる。 ・個別施設管理シートが集計可能な段階に達しており、今後の進展が期待出来る。 ・取組計画を推進する個別施設計管理シートがほぼ完了しており、シートから成果目標である総床面積も成果のある削減状況となっている。関係部署との打ち合わせ、外部委員による推進会議における意見聴取など、目に見える計画が順調に進められている。 ・公共施設マネジメント計画で示した 347 施設とそれ以外の削減で 17.3％を見込んでいるとのことは評価できる。 ・何年までにどのくらいの予算を削減する必要があるのか、そのためにはいつまでにどのくらい減らしていくかというような予算に沿った金額や数値データ（床面積）を元にした実行計画があればさらに具体化して全体像を把握しやすくなると考える。 ・跡地利用も削減計画と同時進行で進めていく必要がある。 ・計画期間が 30 年と非常に長いので、その効果が見えづらく、進捗管理もぼやけてくる。そのため、年度計画で決めた行程は確実に消化することを望む。 ・課題（案件）が多岐にわたり、それぞれの組織で検討を必要とする項目が多いので検討速度にブレーキがかかるのではないかと危惧する。 ・令和２年度に方針決定としているが、「対策コスト」「縮減コスト」について分析を行い、コスト面においても十分な評価を実施したうえで、方針を作成することが好ましい。	

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-２	社会教育施設の抜本的な見直し	教育企画課
進捗状況に対する評価	C　多少の遅れが見受けられる。	
進捗状況に対する意見等	・民間活力の導入が困難であることが現状の大きな課題となっていると考える。それを受けてどのような対策が出来るのか、民間活力先のさらなる模索や統廃合の難しさなどを踏まえた具体的な案を策定する必要を感じた。 ・指定管理・業務委託が困難なことから運営方法について改善をする必要がある。統合・廃止も短期的には難しいようなので、さらなる利用促進策を考えていく必要がある。 ・施設の在り方についての根本的な方針が定まらず、当初の計画と沿わない状況に置かれている。改めて効果的な施設運営を進めるための方針決定が必要ではないかと考える。 ・新型コロナウイルス感染拡大が収まらないなか、利用状況も大きな変化が考えら	

	れるため、計画の遅れはやむなしと考える。また、見直しに向けての新たな視点が必要である。 ・記念館、美術館はそれぞれの歴史や事情があるとしても当市の現在の規模から見ると多いように思える。今後も人口減少は避けられず、既存施設への移転、統合を実施すべきではないかと考える。 ・公共施設マネジメントの方針決定が令和２年度であることから、施設の在り方および民間活力受託困難となった原因等を加味したうえで、早期に個別施設管理シートを分析し、計画を進めていただきたい。

改革No.	改革名	改革責任部署
重-２-①	博物館等の抜本的な見直し	文化振興課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・利用者の増加に向けた様々な取り組みがなされ成果も出ている。 ・まちあるきスタンプと『ラブライブ！サンシャイン！！』をコラボし、芹沢光治良記念館の来館者大幅増に繋げた点が評価できる。 ・芹沢光治良記念館の来場者数が２倍以上に増加したことは結果として評価されるが、芹沢文学に惹かれたからではない一過性の可能性もある。 ・利用者数が増えている施設は各館での取り組みが感じられた。芹沢光治良記念館は定期的にイベントのお知らせをしたり、若い層のアニメファンに興味を持てる取り組みや歩こう会の受け入れなどの努力がみられる。 ・SNSなどの呼びかけにも関わらず利用者が減少している施設に対して、どのように対応していくのか具体的な数値基準（利用者がさらに○%減少したら移転）など、数値目標を掲げるのも良いかと思う。 ・費用対効果の面において、利用者増と費用面との分岐点等を明確にしたうえで方策を煮詰めていくことが必要である。 ・公共施設マネジメント計画と整合性をとりながら利用者の増加を図ってほしい。 ・『検討』『意見聴取』という状況が長く続いているので、しっかりエンドを決めて、議論すべき。 ・各施設の設立や現在の運営状況から統廃合が難しいことは理解するが、老朽化や費用面、及び今後加速するだろう人口減少の観点からも明治史料館や図書館等への積極的な統廃合を進めざるを得ない時期に達しているのではないかと考える。 ・来場者へのアンケートを実施し、その内容による方策を展開し、来場者数を増加させることができている。	

改革No.	改革名	改革責任部署
重-２-②	青少年社会教育施設のあり方の見直し	生涯学習課
進捗状況に対する評価	C　多少の遅れが見受けられる。	
進捗状況に対する意見等	・少年自然の家については、民間事業者への運営の委託が完了しコスト削減効果も大きい。	

	・少年自然の家は、民間活力導入の結果、年間３千万円の節減効果がある点。ゆめとびら舟山については、一定の結論が出て統廃合に向けての検討に進んでいく事が出来る点は評価できる。 ・「イングリッシュアドベンチャー」「ゆめとびら体験塾」は、募集定員以上の参加であり、イベント企画に工夫が見られ、さらに利用者の満足も得ていることは評価できる。 ・「ゆめとびら体験塾」など多くの参加申し込みがあるような企画がありながら、民間委託先の辞退や老朽化の問題など縮小をせざるを得ないような状況にあり大変残念に思われる。リノベーションなど出来れば利用者の増加も期待できる。 ・ワーケーションなど沼津の魅力をＰＲして利用促進を図ってほしい。施設単体だけでなく、地域資源のコラボなど検討が必要。近場なら行ける方や学校関係で自然教室や修学旅行など行事の変更があるのでアピールできるのでは、と考える。 ・新型コロナウイルス感染拡大が収まらないなか、利用促進も厳しく、また民間事業者の受託も考えにくい。そのため、計画中断あるいは変更ではないかと考える。 ・昨年は「地元自治会が業務委託に対し前向き」という記載があったが、一転して地元は辞退した。高等学校や大学の吹奏楽器関連の合宿には最適な立地にはあるが、立地からして他所からの民間参入は困難であるため、運営の見込みが立たないならば、施設自体が廃校から 40 年を経ていることを鑑み、廃止、取り壊しを検討すべきではないかと考える。 ・令和元年度参加者実績に対する費用対効果について検証し、参加人数が少ないのであればイベント企画について再構築することが必要である。ゆめとびら舟山は施設の老朽化が進んでいると推測できるが、建物診断等を実施し、災害が発生しない状態であることを確認しておくことが必要である。また、施設までの通行道路等も災害リスクの検証が必要だと考える。

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-３	学校教育施設の適正配置及び施設の再編	教育企画課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・各エリアにわけ、アンケート実施や説明会などを通して住民の方の意見を積極的に吸い上げていく姿勢がすばらしいと思う。また、長井崎中学校区では、小中一貫として統合への進捗がみられた点も良かったかと思う。 ・戸田地区と長井崎中校区は令和３年４月に一貫校開校とのことで、静浦一貫校の経験が生かされたと思うが、短期間での統合達成は高く評価出来る。 ・第二中学校区の適正化については、教育の質の向上等所期の目的を認識したうえで計画を進めている。 ・統合が今後進んでいくだろうが、単純に統合するだけで完了ではなく、その実施や教育効果への影響なども今後もしっかりと見守っていく必要があるかと思う。 ・地域や保護者との意見交換は必要だが、ある程度市の方針や採算に基づく調整をしなければならない場面が出てくるのではないかと思う。学校の改修工事など税金もかかり、統廃合の時期や規模の見極めができるようにしないと改修工事が無	

	駄になるように思う。 ・第一・第二中学校区合わせての適正化については、地元住民の理解を得られるかが課題だと考える。また、子ども目線からの適正化も考慮していくことが必要である。統合等が耳に入るので不安等を与えない配慮が必要。

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-４	公共施設の会議室等の有効活用	資産活用課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・「公共施設マネジメント計画」、「財政課のセグメント分析結果」など、全体最適の観点から計画を進めている。 ・利用率や回転率などをデータも使用しつつ、年度ごとの削減目標を明確化する必要があるように感じる。利用者が少ないところから削減していくなど、現状の把握をしっかりする必要も感じる。 ・H30 年に統廃合の検討事項となっており少し遅れていると思われる。早急に再配置方針に従い取り組みを開始すべきである。 ・コロナの影響で会議室の利用率は低いと思う。リモートも進み、会議室に関しては利用率などの指標を見直す必要はないか検討すべき。 ・コロナ禍による影響で、会議室等の利用人数制限という問題が浮上しているので、見直しや適正配置の検討は事実上不可能なのではないかと考える。 ・市有の会議室等は図書館、各地区センター、キラメッセ、文化センター、健康福祉プラザ等、作り過ぎたのではないか。会議室は大きな固定設備を持たない空間なので改装は容易であり、転用を検討すべきである。 ・会議室の有料化については、受益者負担の考えから妥当であると考えるが、料金の徴収方法によるコスト比較、また有料化による利用者減等を考慮し、計画を進めていただきたい。また、有料・無料とした過去の経緯を確認の上進めていくことが好ましい。	

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-５	市営住宅の再編及び有効活用	住宅営繕課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・民間賃貸住居が十分な供給量を持つ中でも、適切な量の安価な公営住宅の提供を続ける使命を頑なに守り続けることは今後とも重要なことだと思う。 ・市営住宅の有効活用について、庁内関係課、福祉事業者さらに有効活用事例の自治体へのアンケート等幅広くヒアリングを行い、計画を進めている。沼津の有効活用方策についても方向性としては、正しいと評価できる。 ・人口が 20 万人を下回る現状から見て、現在の集合型市営住宅は量的に適切か。今沢は原団地に次ぐ規模であり、原団地及びＵＲ・県営原団地も近いので廃止も検討すべきではと考える。 ・福祉事業者等のヒアリングの結果、有資格者不足、空住戸の需要がないことなどの	

	確認はできているが、有資格者不足については行政としてさらに踏み込んだ検討（庁内関係部署との協議等）が必要である。他自治体の事例などを踏まえると、立地条件にかなり左右すると受止めることができるので、立地面での環境を踏まえた有効活用事例を検討していくことが必要である。

改革No.	改革名	改革責任部署
重-６	香陵公園周辺整備事業へのＰＦＩ制度導入	総合体育館整備室
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・全体計画としての遅れはあるが、元年度の進捗状況としては、概ね計画通りに進んでいると評価できる。 ・計画通りにＰＦＩ業務委託が完了したことは評価できる。 ・特に課題は残されていないとのことなので、今後もコロナの影響、今後の東京オリンピック開催の可否などがあると思うが、計画通りに進行できればと思う。	

改革No.	改革名	改革責任部署
重-７	新中間処理施設整備事業へのＰＦＩ制度導入	新中間処理施設整備室
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・地元対応など順調に進んでいる点が評価できる。 ・必要性や重要性などを勘案しながら受注金額や建設時期を検討する必要がある。価格高騰が主な理由となるといつまでも建設できなく可能性もあるかと思う。ビジョンを明確にする必要性を感じる。 ・沼津市新中間処理施設整備基本計画（H27 年 7 月）の再検証、見直しを早期に進め、建設時期等スケジュール化を明確にして市民の不安材料を取り除くことが好ましい。現在の中間処理施設の寿命を勘案したうえで再開時期等を決定すべきだろう。	

改革No.	改革名	改革責任部署
重-８	図書館の効率的運営体制の構築	市立図書館
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・図書の貸出件数の増加など目に見える実績として表れている点は評価できると思う。また、地区センターでの貸出・返却ができるようになったことで、地区センターの貸し出し件数も約 3 割増となっており、市民の方にとって利便性が上がったことが示された証拠だと思う。 ・子育て世代にとって、図書館は必要不可欠なものであり、現在の様々な工夫・取組には満足している。 ・次年度も増々利用者の利便性が向上するように資源活用されていくことを期待する。 ・書籍等のデジタル化により若年層の利用は激変するため、壮年、老年層に対しての	

	サービスを重視するべき。 ・集まった人が必然的に滞留し易い施設であり、今後長期に亘る with corona 時代に対応する明確な方針を掲げることを検討して頂きたい。閲覧椅子の撤去は来館者を拒むことに繋がり、図書館としての使命を全う出来ない。現状は閑散とし過ぎ。特に必要では無い空き部屋・スペースがあり、他の施設からの移転、統合を検討すべきである。 ・図書館の運営体制については、市民や団体等との意見交換を交えて進めるのが良いと思われる。 ・高校が多いので、学生が借りたい本を充実させてほしい。

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-９	斎場への民間活力の導入	市民課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・施設等修繕が積極的に行われ、利便性の向上・利用者ニーズに応えるよう努力している。長寿命化への対応も評価できる。 ・火葬炉の更新、施設改修等により、利便性は向上しており、評価できる。 ・他市で実施されている内容は分からないが、当市民は火葬自体は無料、施設の使用料も安価で運営されていることは評価できる。 ・高齢化に伴い必要となる施設でもあるので、修繕やトイレの改修も含め早急に対応が必要であると同時に、予算配分のウェイトを高めることも必要であると感じる。 ・指定管理者制度の導入を前提とした、施設改修等行いながら、指定管理者制度の導入等を検討していくことが必要。または、目標を修正することが好ましい。修繕等改修完了予定時期を踏まえ、検討することを望む。 ・大規模災害の際の受け入れ態勢のシミュレーションは出来ているのか確認が必要。 ・民間活力の導入にあたっては、参入する事業者が専門事業者であったとしても、斎場施設は神聖な存在であると捉えて、出来れば公の直営であって欲しい。 ・資金もかかるため難しいかもしれないが、せめて内部の環境整備の可能性を探ってもらいたい。	

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-10	都市公園管理業務への民間活力の導入	緑地公園課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・公園や公園利用の充実は、都市の魅力になると思う。その点でいうと、島郷公園の一般利用に向けた協議への着手や門池公園の自由度の高い自治会中心の利用など大変評価できると思う。 ・目標に対する成果である「民間活力導入」に向け、様々な利用者がいる中、ワークショップの開催など意見交換を展開している。 ・門池公園は公園としての環境は必ずしも好ましくないが、ぬまづの宝 100 選にも選	

	ばれた桜の名所でもあるため、こうした資源をより活用できるような地域との連携が重要であると考える。 ・民間活力導入調査結果、公園アクションプランに基づく民間活力導入に向けた取り組みを令和元年度の実施計画としているが、その取り組みに対する結果が見えていないので、計画に掲げた取り組みを推進していくことが好ましい。

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-11	静岡県住宅供給公社への市営住宅管理業務等の委託化	住宅営繕課
進捗状況に対する評価	C　多少の遅れが見受けられる。	
進捗状況に対する意見等	・費用対効果の観点から施策の実施有無が検討された点は良かったと思う。コスト削減どころか負担増加になるなら、実施プランの見直しも必要になるかと思う。 ・管理する市営住宅の基礎データの確認、委託化に向けた調査等を実施できている。 ・高齢化に伴って対処すべき問題も山積だと思う。また、事務の軽減とサービスの向上の実現という難しい側面もあると思う。何を優先し限られた資源の中で配分を行うかの基準を明確にする必要も感じた。 ・業務委託による費用対効果認められない。管理業務の効率化等を検討していく必要がある。計画の見直しが必要となるのではないか市営住宅の再編及び有効活用と並行して考えていく必要がある。 ・時期を決めて方針を早期に決定すべき。『いつまでに』を決定しないと、時間ばかり経過する。 ・公社・民間事業者への業務委託は費用対効果が得られないというが、その内容・原因・根拠が示されていない。 ・現状では、改革の方向性が表題とは異なっており、改革項目から除外して新たな取組とするか、達成不能による終了とすべきではないかと考える。 ・委託化（管理代行制度、指定管理者制度）による費用減と住民のサービス向上の両立を図ることを目標としており計画としては望ましいと考えるが、社会情勢を踏まえると委託化により費用が増加することは当然と考える。費用面では、将来にわたる職員のサービス費用など比較検討内容について考察することも必要と思われる。	

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-12	まちづくりファンドの活用	地域自治課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・応募件数なども 30 件以上と安定的になってきており、事業の定着が見込めるように感じた。実績内容が市にとっても貴重な財産になると思う。 ・ハード事業について、随時募集・受付を検討している点は評価できる。 ・事業採択数は大幅な増加はないものの一定数を確保できていることは職員の取り組みが確実に実践できている結果と評価できる。伴走支援についても採択事業すべてについて実施できており、さらには法人設立など事業のフォローもできてい	

	る。さらにはリノベーション街づくりへと枝葉を伸ばしている。 ・これまでの「まちづくり活動」を集約し、過去の実績として何らかの知見を得たり、実績を体系的にまとめていくのも重要かと思う。 ・H28 年度から始めているが過去の事業の継続性について検証し今後の選考に役立てることも必要ではないかと考える。 ・一過性のものではなく、定着して沼津市の賑わいに寄与できるよう定期的なフォローをしてほしい。 ・新型コロナの影響でまちづくり事業も疲弊することが想定されるが、活性化を期待出来る取り組みであり、件数を絞ってでも有力なファンドを見つけ出し、育てて欲しい。 ・採択された団体のその後の活動内容の周知も必要だと考える。 ・採択件数も重要であるが、事業により生み出される「雇用」「人口増」についてもフォローを実施していくことが必要と考える。採択件数は多いことは歓迎することであるが、補助金との兼ね合いも含め、対応していくことが必要である。

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-13	リノベーションまちづくり事業の推進	まちづくり政策課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・老朽化した仲見世商店街のアーケードを撤去し刷新を図っただけでなく、ソフト面から商店街の再興を検討されている点がすばらしいと思う。 ・新仲見世商店街のアーケード撤去・再編が進捗し「旧国一南エリア」のリノベーションまちづくりの拠点的な役割を果たせるのではないかと考える。 ・小規模な取組が多いが、一定の成果は出ている。 ・エリアビジョンという戦略によりリノベーション街づくりを実践していくことは、見える化という観点からも好ましい。エリアビジョンでソフト面を課題として捉え、マーケティング、メディア、事業継承等のソフト面の対応も迅速に実施している。 ・遊休不動産の再建だけでなく、新仲見世商店街の老朽化したアーケード撤去に伴う道路空間の再編が実施され、駅前周辺が安全なまちづくりされてきている。 ・「マーケット」や「メディア」「事業承継」などソフト面でのリノベーションは、まだこれからの段階かと思う。マンパワーの不足を様々なアイディアや IT なども活用することで活性化が図れたらと思う。 ・些か手詰まりになっていないか、広範な意見を募るべき。まちづくりファンドとの連携を検討出来ないかと考える。 ・「まちづくり」、「リノベーション」というものが、一部の人間のものになっているように見受けられる。 ・改革の目標に掲げている「事業の連鎖」を生み出していくことは極めて重要であるため、連鎖という項目も含め分析・検証等を実施していくことが必要である。	

改革 No.	改革名	改革責任部署

第３次沼津市行政改革プラン　個別改革に対する評価（令和元年度実績）

重-14	ＳＮＳや新たなツール等を活用した市政情報の効果的な発信	広報課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・SNS 媒体によるフォロワー数の増加は、従事した職員の努力の成果だと思う。また、それにより市政に関する情報発信も大変スムーズになり、住民の情報へのアクセスも同時に良好になった点は素晴らしいと思う。 ・５課連携による SNS 登録キャンペーン等、工夫がなされている。フォロワー数が増加し一定の成果が現れている。 ・費用対効果の面で、有効な広報手段であり、引き続き注力していただきたい。 ・各種 SNS のフォロワー数をさらに増加させるためにも日々の更新や情報発信が欠かせないと思うが、そのあたりを実行していける負担の少ないシステム作りが重要かと思う。 ・事業によるキャンペーンやプロモーションによって、どれだけの発信が行えたのか、アクセスがあったのか、数値的な経過として開示していくことが新たな目標設定になるのではないかと考える。 ・フォロワー数の増加は見られるが、絶対数はまだ少なく、更なる広報活動を望む。 ・広報推進会議、シティープロモーション検討会では幅広く意見を徴収し、他市に負けないプロモーションを展開（『○○といったら、沼津』と言ってもらえるよう）していくことを期待する。	

改革 No.	改革名	改革責任部署
重-15	効果的な広報戦略の推進	広報課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・広報連絡主任に対して研究会を通して意識付けを積極に実施されている点はすばらしいと思う。また、成果実績数値も年々上昇していることからも成果を見て取れると思う。 ・報道投げ込み件数および記者会見資料作成数も増加しており、それに対し新聞掲載率もかなり高い数値を確保できていることは、広報推進会議等の成果が出ている結果である。 ・取り組んでいる課題について市民に積極的に情報開示を行うことは非常に重要であり、また、理解も得られやすくなると思う。そういった点でも広報活動の向上に向けた取組みは重要であり、今後増々の意識づくりに期待する。 ・新型コロナウイルスの影響もあり、市民に伝わるメディアやその活用方法にも従来通りではない発想が必要になってくると考えられる。受け取り手の年代・生活形態によっても様々なため、画一的ではない柔軟さが求められるといえる。 ・広報活動による成果は沼津市民の認知度向上に留めず、他市・他県に対しても積極的に展開し沼津市の認知度を向上させる取り組みも検討していくことが必要である。	

改革 No.	改革名	改革責任部署

第３次沼津市行政改革プラン　個別改革に対する評価（令和元年度実績）

主-１	未利用資産の活用	資産活用課、政策企画課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・旧戸田国民宿舎の活動に関しても施設見学があった点は評価できる。 ・提案型公民連携制度においてはまちづくり政策課等、他課と連携し多くの情報を集約できる体制が必要ではないか。 ・実績が計画と大きく乖離（上でも下でも）する場合、情勢に何らかの変化があったか、計画そのものに瑕疵がある可能性が高く、計画自体を検証すべきではないか。売払収入には除却損や取壊し費用等の損金も算入して「収支」とすべきではないかと考える。 ・西浦市有地については交通の便からも事業性は難しいと捉えることができるが、知恵を出し合い、資産の有効活用を図ることを望む。	

改革No.	改革名	改革責任部署
主-２	ふるさと納税の推進	観光戦略課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・返礼品の増加など地道な努力の成果が結実したと思う。返礼品の増加は、ふるさと納税の魅力を大きくアップさせることが出来たと思う。 ・新設された指定制度を遵守するため寄附総額は減少したが、ＰＲ活動の見直しにより新たな取り組みを始めた点は評価できる。 ・指定制度の導入により、利用プランの制限等が発生しＰＲ機能が使用できなかったにも関わらず当初目標を達成できている。そうした中においても返礼品の拡充ができている。 ・全国的にふるさと納税の納附額が減少する中で寄附額自体は目標を達成できたことはすばらしいと思う。その一方で、広報プランの変更に伴う納税額の減額（69,710 千円）は、大きな影響だったように思う。 ・寄附サイトの露出に工夫の余地があるように思う。 ・沼津市在住者が他の地域に納税を行った結果、当市の減収となった金額も併記すべきではないか。実際の効果額はプラス分とマイナス分の合算であるべき。	

改革No.	改革名	改革責任部署
主-３	収納対策の推進	財政課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・今までの取り組みの蓄積から収納率の改善が見られる債権が増加しているということで、仕組み化がうまく出来てきているように感じた。 ・新型コロナウイルスによる影響が大きく、対応が難しくなることが予想される。 ・厳しい社会情勢の中においては債権確保が難しいと捉えているが、目標値を上回る債権の確保ができている。 ・PDCA サイクルもしっかりしているので、問題は特にないように感じる。	

	・税の滞納は公平性を損なうという観点から実態（決算カードに記載されている水準）をわかり易い方法で開示すべきではないか。他市と比較すると下回っていることに留意すべき。 ・年度計画において、「努力をしたうえで達成できる目標を設定」とあるが、実績、方策を踏まえたうえで「達成すべき目標」を設定することが好ましい。行政の債権は、「民」と違い、債権確保が難しいことは理解できるが、民間のノウハウを活用した債権確保の委託化等の方策も検討していくことも必要と考える。

改革No.	改革名		改革責任部署
主-４	有料広告事業の推進		政策企画課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・広告媒体の導入が１件あった点は評価できると思う。 ・「有料広告事業」と呼ぶには些か抵抗感はあるが、家族を亡くした者としては何をすべきか戸惑った経験があるので、多少の広告の存在があっても『ご遺族の方へ』はありがたい。名称を変更して日常的に誰でも入手出来る様に出来ないか。広告収益も増えるだろう。 ・継続的な取り組みにより過去実績を上回る効果が生み出されている。 ・広告募集の掲載ページをわかりやすくするなど次年度は改善の余地があるように感じる。地元企業へのさらなる周知も課題となっていると思う。 ・広告の募集については他部署と連携し幅広いチャンネルで周知していくことが必要。 ・広告事業で歳入確保が目標のようなので、引き続き収入の増加を図ってほしい。 ・地元企業への広報の方法としては、応対担当者から手渡す方が周知効果は多少上がるかと思う。 ・行政の広告媒体は一般と比較した場合広告効果は高いと思われるので、地元企業への周知方法等の検討を早期に実施することを期待する。		

改革No.	改革名		改革責任部署
主-５	水道事業の経営健全化		水道総務課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・震災などに備え耐震工事に着手している点は良いと思う。水道収益ばかりでなく公共インフラとしての側面も重視し、施設保持に資源を配分している点が評価できた。 ・給水量減少の中、利益計上できていることは評価する。 ・水道施設の更新・耐震化が、概ね計画通りに進捗している。井田簡易水道の統合完了は評価できる。 ・沼津の水道水はうまい、という現在の評価が続くことが一番だろう。 ・未完了となっている耐震工事に関しては、次年度中には完成できるように急ぐ必要があると感じる。近年、地震や水害も多く、災害対策と設備のメンテナンスは安全		

	な水の供給の観点から非常に重要だと感じる。 ・歴史が長いだけに老朽化問題も多いと思う。沼津市水道の水源の２/３は清水町内に存在する水源地から取水しており、狩野川の底を送水管が横切っているため、橋を利用するといった更新（２ルート化）を検討すべきではないかと考える。 ・全国で水道設備の老朽化等により事故が発生しているニュースを見聞きするので、設備更新、耐震化については、計画的に工事が発注できるよう進めていただきたい。純利益から見ると健全な経営状態と言えるが、経費の節減についても目標等を設定し、さらなる健全化に進めていただきたい。

改革No.	改革名	改革責任部署
主-６	下水道事業の経営健全化	水道総務課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・普及率が低い中でも多少ずつでも下水道の布設が進んでいる点が良かったと思う。 ・震災などに対する施設整備など保守点検も重要になっていると思う。普及と合わせて老朽化の問題も同時に検討していく必要があると感じた。 ・下水道管施設についてはほぼ計画通りに進捗しているとのことであるが、下水道ビジョンの見直しにおける未達事項の目標達成に努力していただきたい。 ・下水道普及率 59.5％（H29 末）で、過疎地でもない沼津市が全国平均を 20％近く下回っている点は憂慮すべき状況だと考える。 ・沼津市の下水道普及率は他市と比較すると低い。地形的な問題もあるが、普及率を上げることも今後の課題と思う。また、その課題達成に向け、ビジョンを見直し実行していくことが必要である。	

改革No.	改革名	改革責任部署
主-７	市立病院のあり方に関する抜本的な見直し	病院管理課、政策企画課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・収支改善がなされたことは評価できる。泌尿器科医確保による入院診療・手術の再開等、収入増に向けた努力がなされている。 ・限られたマンパワーの中で経営を行うという点からは、ニーズに合わせた人員配置が必要になるかと思う。医療提供者不足の中大変健闘していると思う。 ・沼津市立病院新改革プランに即した経営改革に努めてもらいたい。 ・with corona 時代に地域の中核医療機関として今後共中心的な役割を果たして欲しい。閉鎖や休止が続いた医療業務が次第に復活している流れを止めてはいけない。 ・地域の基幹病院としての役割を果たすための関係科の医師の確保に継続的に取り組んでいただきたい。沼津市立病院新改革プラン評価委員会の評価に沿い適切に対応することを望む。	

改革No.	改革名	改革責任部署
主-８	財務書類等の作成と利活用	財政課

進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・各財務諸表類の作成、スケジュール、事務処理が定型化できていることは評価できる。 ・市政全体としての管理運用を図る上では市有財産の適切な把握が必須となるかと思う。その意味においても固定資産台帳を重要だと思う。まずは、作成に関するしくみがしっかりと構築できると良いかと思う。 ・財務書類を有効に活用した施策の検討が必要。 ・売上高が存在しない公会計は直感的なイメージがよく分からないが、様々な仮勘定や税効果会計といった複雑な会計処理が存在するものでは無いので処理期間の短縮は十分可能だと思う。今後はスピードアップが求められる。その為には関連する部門や関連団体の意識改革と協力が不可欠である。 ・各財務諸表類の定型化については、継続的に実践されるようマニュアル化等の検討、デジタル化等の検討など将来を見据えた検討を進めることを望む。	

改革No.	改革名	改革責任部署
主-９	市政への市民参画機会の拡充	地域自治課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・パブリック・コメント制度の適正な運用、女性の登用率の上昇など積極的に取り組まれている点が評価できる。 ・制度の運用蓄積などから改善すべき点などを洗い出し、さらなる制度の充実が図られると良いと思う。 ・公募委員数の増加に努めてもらいたい。また、公募しても募集がないのではあまり意味がないので、公募以外でも意見聴取の方法を検討してほしい。委員会でお堅く意見を聞くだけでなく、若者女性の社会参画推進のような仕掛けやイベントも必要ではないかと考える。 ・公募枠の公募登用率向上を図るため懇話会等の内容について市民の参加意欲が涌くものを検討していくことが必要である。女性が参加しやすい時間帯等での開催を検討することが必要である。 ・市の職員が市政に一番精通しており、市政の多くは市民の税金で運営しているといっても、必要以上に市民の意見を取り入れる必要は無いと思っている。	

第３次沼津市行政改革プラン　個別改革に対する評価（令和元年度実績）

改革 No.	改革名	改革責任部署
主-10	若者や女性の社会参画の推進	生涯学習課、地域自治課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・女性の自治会長の割合の増加など数値の増加が見られる点が良かったと思う。 ・啓蒙活動に積極的に取り組み、成果が出てきていると見受ける。 ・仕掛けやイベントで、日頃発言の機会が無い立場の市民に発言の場を設けている点が評価できる。 ・若者啓発イベント参加者数は、昨年度より増加したものの平成 29 年度に対しては、いまだに低い数値である点は気になった。若者啓発は、将来の市政を担う人材確保という点からも啓発活動は重要であると思う。 ・現在の状況を踏まえ、どのように全体計画や今後の課題をまとめていくのかが重要だと考える。 ・若者啓発イベント数は年 4 回実施されているため、回数を増やすことは難しいと思われるので、参加者の評価等を分析し、一イベントの参加率の向上を図っていただきたい。	

改革 No.	改革名	改革責任部署
主-11	クラウド化の推進	ICT 推進課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・子育て系共同利用サーバの導入が完了し、運用コストの削減などに努められた点が評価できると思う。 ・自治体セキュリティクラウドの運用、全庁的な視点でのシステムの最適化などが計画通り実施・運用されていることは評価できる。 ・クラウド化のメリットを最大限に生かせるよう運用をお願いしたい。 ・クラウド化によるデータの利用など、これまでのスピードとは比較にならないほど急激に必要性が高まってきた。セキュリティ・コスト面の課題をクリアしつつ利用者利便性向上を目指していただきたい。 ・自治体毎に異なるシステムを構築している様だが、せめて県単位では統一システムを導入出来ないのか検討出来ないものかと考える。費用や突発事項対応面でも格段に効果があると思う。 ・システムセキュリティについては、クラウド化で過信することなく、安全・安心を最重要事項として運用を図っていただきたい。また、庁内のシステム使用者へのシステムセキュリティに対する周知等についても年度毎に実施するなど運用に細心の注意をお願いしたい。	

第３次沼津市行政改革プラン　個別改革に対する評価（令和元年度実績）

改革 No.	改革名	改革責任部署
主-12	マイナンバーの利活用	ICT 推進課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・介護保険制度における効率的な運用に向けて積極的に検討を実施されている点は素晴らしいと思う。 ・沼津市としてマイナンバーの利用メリットを検討したい。マイナポイント開始などこの流れでマイナンバーカード取得を進めてほしい。マイナンバーカードへの関心が高まっており普及に良い機会となっている。 ・マイナンバーカード発行までの時間短縮が課題だと考える。 ・市民への情報発信が重要だと考える。 ・マイナンバーカードの普及にはまず市職員が率先して取得すべきではないかと考える。 ・マイナンバーカード普及率は、制度発足からある程度経過しているものの、本市の令和２年８月時点では 16.3%にとどまっている。普及を妨げる要因（年齢・性別別、地域別など）を分析し、また他県の好事例等を参考し、思い切った普及率向上策を展開することが必要。双方の事務の効率化を図るため、利用者目線での独自利用の研究を進めていただきたい。高齢化の時代を迎えているため、高齢者目線での運用を図るよう進めていくことが重要であるので、簡明な利用方法についても並行して研究を進めていただきたい。	

改革 No.	改革名	改革責任部署
主-13	納税手段の拡充	納税管理課
進捗状況に対する評価	B　概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・納付者に対する納付方法の多様化を図った点が評価できる。キャッシュレス決済が進行するなかで、様々な納付方法により時間的・場所的障壁がなくなれば納付しやすくなると思う。 ・納税手段の拡充は徴税率アップにも効果が期待出来る。 ・今後も、さらに各種納付制度のスムーズな運用を目指して検討を進め、益々利便性が高まると良い。 ・ＩＣＴについては、利用者・使用者双方にとって利便性・効率性等の観点から幅広く活用していくことが重要であるため、双方にとって使い勝手の良いシステムを導入することを望む。県内他市町では軽自動車税は既にモバイルレジによる支払いを運用しているがあると聞いている。できるものからＩＣＴの活用を拡大することを望む。 ・キャッシュレスでの利用が増えたり、マイナポイントなどでの支払いを希望する人のために、各種電子決済サービスの利用も検討すべき。	

改革 No.	改革名	改革責任部署
主-14	市民課発行証明書のコンビニ交付の導入	市民課

進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・利用件数も増加し成果として、サービスがしっかりと利用されている状況がわかる点が良いと思う。 ・証明書のコンビニ交付の活用により、市民の利便性、市の経費削減ができている。 ・コンビニ交付に合わせてマイナンバーカードの交付が重要かと思う。また、マイナンバーカードの発行手続き自体に時間がかかることや交付のために何度か市役所を訪れる必要があることなど普及自体にも障壁があるように感じる。交付手続きも簡素化されれば良い。 ・コロナ禍の状況でコンビニ交付は現状にあった方法でありマイナンバーカードの普及増が見込まれる。経費削減・業務効率化・市民の利便性の向上にもつながることから積極的な対応をお願いしたい。 ・マイナンバーカードを使わないとサービスが利用できないところに「敷居の高さ」があることは否めない。新型コロナ関連の給付金や、マイナポイント事業の波に乗って市民にいっそうアピールしていくことが必要であると考える。 ・コンビニ交付に対する市民の意見を伺い、さらなる利便性の向上を図っていただきたい。	

改革No.	改革名	改革責任部署
主-15	定員管理計画に基づく職員数の適正化	人事課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・将来を見据えた定員管理計画に即した定員管理は重要であり、また有効だと思う。 ・定員管理計画による定員数の目標値をクリアできている。また、厳しい定員計画の中で、新規採用もできている。 ・定員管理として人員を削減しすぎては個人への負担が増すばかりで健全な働き方とはならない場合も生じると思う。ICT を利用したコスト削減可能な部分は利用し、人員が必要な部署へは適切に配置を行うことが重要かと思う。 ・単に全体要員数のみの管理ではなく、サービス業務実施部署などは数値を図れないものもあるため、庁内部署における適正定員数についても、的確な要員管理を図るべき。	

改革No.	改革名	改革責任部署
主-16	給与等の見直し	人事課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。
進捗状況に対する意見等	・有能な人材確保や従事者のモチベーションという点からも給与規定は重要かと思う。 ・国が定める指針に沿い、他の自治体と比較して乖離が無ければ見直しの必要は無い。一方で、民間では勤務形態の多様化等により、伝統的な年功序列を敢えて崩す給与制度を取り入れる動きもあり、自治体では困難とは思うが今後検討する必要	

	はある。

改革 No.	改革名		改革責任部署
主-17	組織体制の見直し		政策企画課
進捗状況に対する評価	B	概ね計画どおり進んでいる。	
進捗状況に対する意見等	・より細やかな行政サービスの提供という点からしっかりとした組織体制が取られていると思う。 ・職員の不祥事を踏まえ、速やかに組織改正を行った点は評価できる。 ・民間企業においてはコーポレート・ガバナンス（企業統治）の視点は増々重要となっている。そもそも不正などをさせないような組織体制を構築することが重視されている。行政機関においても今後は同様の視点が必要になると思う。 ・色々な要因によって組織の見直しは常に必要だが、単純に見ると構成人数（一般部門のみで約千人）に対して部門の数が民間企業と比較すると経験的にはかなり多い様に感じる。「係」レベルでは恐らく兼務が多いと思うが、「課」レベルを少なくする検討は出来ないかと考える。「市民から見て分かりやすく」がかえって分かり難くなっている様に思える。 ・引き続き、市民の視点に立ったサービス向上ができる組織、行政課題に速やかに対応できる組織を構築するよう努めていただきたい。		